

ご挨拶

令和3年度がはじまりました。

コロナの感染拡大は、緊急事態宣言が解除されたものの変異種ウイルスの新規感染者の出現等により、新たにまん延防止等重点措置を適用することが4月1日に決まりました。これまで感染者が少なかった地域でも増える状況にあります。一日も早く日本中が、コロナから解放される日が来ることを願っております。そして、皆様と笑顔でお話ができ、思い切り稽古ができるようになることを待ち望んでおります。

さて、昨年6月に伊丹市は、「清酒発祥の地 伊丹」として日本遺産に指定されました。なぎなたの町として発信されたことから、伊丹市のストーリー構成文化財の一つに「なぎなた（修武館）」と記されています。修武館には、230年の歴史があり、そこで稽古ができる幸せを持たなければなりません。

コロナ渦で自粛時間ができました。今までは日々の生活に追われゆっくり見直したり、振り返ったりすることが難しかったと思います。逆にこの時間を与えられたことにより、時間を有効につかう大切さ考えたり、新しい本を読んだり、いろいろなことに触れたりすることができました。そのおかげで先師が残された大きな遺産を見つめ直し、感謝し、守ることがおろそかになっていることに気づきました。改めて歴史を残す大切さを痛感した次第です。

よく文武両道と言われます。学びも稽古も両方積み上げていきましょう。先生方から多くのことを学び、自分の努力をおこたらず学んだ技を身につけていきましょう。人間は一人では生きていけません。お互いに支えあっていかなければなりません。たくさんの仲間を作って充実した日々を送りましょう。「修武館」の仲間、輪を作っていきましょう。

本年度も、みなさま、どうぞよろしく願いいたします。

令和3年4月1日
公益財団法人修武館
館長 木村 恭子